

令和4年(2022年)2月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2022年2月 数量 (トン)	2022年2月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	神奈川県産・千葉県産中心の入荷でした。干ばつと冷え込みの影響から、入荷量は減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	533	106	85%	143%
2		はくさい	茨城県産中心の入荷でした。豊作により入荷量はかなり増加しました。寒冷が続くによる需要が強く、平均単価は大幅に高く推移しました。	723	59	132%	180%
3		きゅうり	宮崎県産中心に千葉県産・高知県産・茨城県産からの入荷でした。燃料価格高騰と低温の影響により、入荷量は減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	256	425	89%	104%
4		ほうれん草	茨城県産・群馬県産中心の入荷でした。低温の影響により、入荷量はかなり減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	73	564	64%	143%
5		馬鈴薯	鹿児島県産・北海道産中心の入荷でした。鹿児島県産は長雨の影響により価格高で推移しましたが、入荷量は増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	330	250	120%	109%
6	果実	その他柑橘	中晩柑類は不知火や甘平を中心に計画入荷が前倒しされた結果、入荷量は増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	644	318	111%	105%
7		りんご	不作により貯蔵量が少なく、入荷量は減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	198	345	86%	135%
8		いちご	苗の生育不良の影響により、入荷量は減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	142	1,621	89%	109%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)-0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上